

第1回厚生文教常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和6年5月17日（金曜）		午前 9時30分 開会	
	休 憩 9:51-52 9:59-10:00 10:17-18			
	午前10時37分 閉会			
	休憩時間：0時間03分		会議時間：1時間04分	
会議場所	3階委員会室			
出席委員 氏 名	委員長	中村 和宏	委員	立川 美穂
	副委員長	中田智恵子	委員	堀切 忠
	委員	鈴木 健充	委員	小笠原 等
	委員	早苗 豊	委員	伊藤 稔
説 明 員	健康福祉課長	森 真由美	生涯学習課長	江崎 健一
	保健推進係長	吉川 泰子	スポーツ振興係長	梅森 祐之
	国保医療係長	塩原勢津子		
参 考 人				
欠 席 委 員 氏 名				
事務局職員	事務局長	安田 敦史	総務係長	竹川 恭史

『会議に付した事件と会議結果など』

1 開 会

- ・委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。

2 議 件

（1）調査事項

ア 令和6年度新型コロナウイルスワクチン接種の予定について

資料1

- ・健康福祉課長：事業概要説明。担当係長から資料説明する旨を告げる。
- ・保健推進係長：資料説明（「令和6年度の新型コロナウイルスワクチン接種について」「令和5年度新型コロナウイルスワクチン接種実績について」）
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・立川委員：接種費用について、町と接種者の負担の考え方は？
- ・課長：町の一部補助を予定している。
- ・堀切委員：具体的な補助金額は？
- ・課長：接種率を50%と想定し、町の概算補助予算額10,000千円を見込んでいる。現時点では、国において接種費用（単価）が確定していないため、具体金額に言及できないが、割合としては50%補助を想定している。
- ・立川委員：子どもの接種については、いかがか？
- ・課長：子育て支援課所管となるが、現時点で補助の予定はないと捉えている。
- ・鈴木委員：R5接種実績の約60%について、町としてどのように評価しているか？

- ・保健推進係長：国の統計と比べ、本町の接種率は若干率が高く、接種機会の確保は一定満たしていると評価している。
- ・堀切委員：障がい者への接種費用助成の検討経過について、いかがか？
- ・課長：国が規定する重症化リスクの高い対象者については、一定の支援を考えている。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で、調査事項「ア」の調査を終了する。

イ 令和6年度芽室町国民健康保険税率等の考え方について 資料2

- ・健康福祉課長：事業概要説明。担当係長から資料説明する旨を告げる。
- ・国保医療係長：資料説明（「現行税率と改正後税率の比較」「軽減判定所得に乗じる額における改正内容」「令和5／6年度年税額の比較」「低所得者に係る保険税額軽減措置世帯の割合」「賦課限度額超過世帯の割合」）
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・堀切委員：平成28年度以降国保会計の収支は黒字となっているが、今般の改正にあたり、独自引き下げの検討はしなかったのか？
- ・国保医療係長：北海道とも密な情報共有に基づき、将来推計等も鑑みた結果、令和12年度あたりに状況が変化（増額）することも想定されることから、今回お示しの考え方としたところである。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で、調査事項「イ」の調査を終了する。

ウ 「株式会社コンサドーレ等と芽室町及び芽室町教育委員会の包括連携協定」の内容について 資料3

- ・生涯学習課長：資料説明（「前提条件／上位計画・課題」「目的」「連携事項」「取組」「推進体制」）
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・立川委員：「芽室町の課題（P2）」について伺う。教育委員会ではなく他課が所管する課題については、関係課が連携しながら取り組む姿勢と捉えて良いか？
- ・課長：お見込みのとおり。
- ・立川委員：株式会社コンサドーレにおいては、後志管内仁木町でスキー場の指定管理事業を担っている実績もあるようだが、本町においても、コンサドーレがスキー場に関わる想定はあるのか？
- ・課長：所管外につき、言及できない。
- ・立川委員：協定の個別事業は、各課で担っていくということか？
- ・課長：包括連携協定の推進について、トータルとしては関係課が連携するが、個別事業は担当課が担うことになる。
- ・立川委員：スキー場を社会体育施設とすると、所管は教育委員会となるのではない

か？

- ・課長：スキー場については、児童生徒の体育授業では活用するが、今の時点では、「スキー場」に観光要素も含むことから、当課のみの関わりでなく言及できないものである。
- ・鈴木委員：「スカイアース」と「コンサドーレ」との協定の違いは？
- ・課長：両者の共通項として「サッカー」という要素は重複するが、広く浅く「まちづくり」の基盤を構築することに貢献する目的である。
- ・鈴木委員：「芽室町の課題（P2）」に記載されている事項として、「高齢者福祉の充実」「シティプロモーションの推進」「地域資源を活用した観光の振興」がコンサドーレに特化した協定項目と捉えて良いか？
- ・課長：お見込みのとおりである。
- ・鈴木委員：この連携協定により、現在再開を検討しているスキー場の運営に関連する関わりが想定されるが、現時点での町の考え方は？
- ・課長：所管外につき、答弁は控えたい。
- ・早苗委員：教育委員会の課題解決として、この協定に期待する事業とは何か。一例を挙げると、部活の地域意向等への協力が想定されるが、具体的な背景を伺いたい。
- ・課長：コンサドーレは、道内のナンバーワン・サッカーチームであり、総合計画にも位置付けている「一流を見て、聞いて、学ぶ」の実現に向けて取り組みたい。
- ・立川委員：人材派遣事業の可能性もあるか？
- ・課長：教育委員会として、まだ、そのような具体事業までは想定していない。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で、調査事項「ウ」の調査を終了する。

エ 3月定例会議の振り返りについて 資料4

- ・立川委員：資料説明。
- ・委員長：項目ごとに各委員からの意見・質疑を求める。最初に、厚生文教常任委員会として追跡調査すべきと提案のあった「障がい者に配慮した『福祉避難所設置』及び『町民避難行動原則に対し合理的な配慮に基づくルール変更の検討』」について、意見・質疑はないか？
- ・鈴木委員：立川委員から提出のあった「振り返り」全体について、意見したい。今回提出された立川委員の御意見については、委員会が「団体との意見交換会」として実施した「どんぐり会」からの声を、一般質問で町長（執行機関）に質し、さらに追跡調査しようとするというものであり、政策形成サイクルに乗せて実践すべくテーマと考える。当委員会として、正式に調査をすることが良いと考える。
- ・早苗委員：「他の常任委員会に追跡調査を依頼したい政策・事務事業等」に記載されている趣旨の対応としては、地域防災計画について、個別計画の進捗確認も含めて、合同委員会において調査すべき手法もあると考える。
- ・立川委員：早苗委員の御意見のとおり、過去にもそのような実績があるため、総務経済常任委員会とも協議いただきたい。

- ・委員長：ただいま、幾つか発言のあったとおり、当委員会における継続調査及び総務経済常任委員会と協議しての合同委員会開催については、正副に一任いただき対応を決定したい。異議ないか？
- ・(なし)
- ・委員長：異議なしと認め、決定する。

- ・委員長：自由討議を行う。調査事項「ア」について、意見はないか？
- ・立川委員：受験期の児童生徒に対するワクチン接種費用の支援策について、現時点では実現性が見込めないことから、子育て支援課の意向も確認したいと考える。
- ・委員長：御意見を踏まえて、対応について正副で対応を検討する。

- ・委員長：調査事項「イ」について、意見はないか？
- ・(なし)
- ・委員長：終了する。

- ・委員長：調査事項「ウ」について、意見はないか？
- ・鈴木委員：スキー場については「観光の振興」の категорияであり、生涯学習課（教育委員会）は所管外という答弁があった。については、スキー場を含む新嵐山スカイパークのトータル的な調査ができるように、議会内のしかるべき機能を活用し（特別委員会）、タイムリーに取り組むべきと考える。
- ・中田委員：鈴木委員の意見に賛同する。
- ・立川委員：（新嵐山スカイパーク経営改革調査）特別委員会により、スピーディーに調査できるようにスタンバイすべきと考える。
- ・委員長：来る 25 日に、町は先方（コンサドーレ）と正式協定を締結するとの説明であり、その後、町から具体的にスキー場の運営について考え方が説明されたときには、速やかに対応できるよう他の委員会とも適宜調整し取り組みたい。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について

- ・正副一任

(2) その他

- ・委員長：各委員から「その他」でないか？
- ・(なし)
- ・委員長：議長からないか？
- ・(なし)
- ・委員長：事務局からないか？
- ・(なし)

以上をもって、厚生文教常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	議員	2名	合計	2名
令和6年5月17日								
厚生文教常任委員会委員長 中村和宏								